

カラッポのおうち

発行/長瀬 やなせ
「カラッポのおうち」の会
準備会

2013年
3月5日(火)準備号
(創刊号発行までは、
内容が変わります。)

「カラッポの会」もうすぐスタート



原発事故で被害を受けた子どもと、その家族のための保養、休憩の家「カラッポのおうち」の整備がすすんでいます。家を管理し、利用提供する会「カラッポの会」が3月24日(日)にスタートします。会スタートを発表するのは「鈴木稔水彩画展」で同日夕方5時から行われる「ギャラリーコンサート」終了後となります。

コンサートに出演するのは、チェルノブイリ子ども支援の演奏活動をしてきたプリピャチ出身のカテリーナさん。そして、ケーナ演奏家清水康之さんとチャランゴ演奏家の鈴木龍さん。

カテリーナさんが生まれたプリピャチはチェルノブイリ原発から3.5キロの町。事故当時住民約5万人は全員避難、生後一ヶ月のカテリーナさんもその一人。民俗楽器バンドゥーラを奏でながら唄うカテリーナさんの美しい声は、聴く人を強くひきつけます。清水さん鈴木さんのお二人は、日本のフォルクローレ第一人者として活躍しています。「カラッポの会」スタートを大きく元気づけてくれることでしょう。(「ギャラリー日比谷」のホームページあります)



鈴木稔水彩画展

2013.3.22(金) - 3.27(水) 11時~19時(最終日17時)

ギャラリー日比谷 Tel. 03-3591-8945

100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-5 (地下鉄日比谷線A4口そば)

1F 写真(ウクライナにて) 2F 水彩(木製パネル) 入場無料

【24日(日)ギャラリーコンサート1F】

演奏①17時ウクライナ民族楽器②17時半ケーナ③18時①に同じ

★大人の気持ち

「大人の気持ち」とは、どこまで、純真無垢な「子どもの気持ち」に立ち戻れるかということではないでしょうか。

私は、チェルノブイリ支援活動のNGO団体からの派遣で2004年に初めてウクライナとベラルーシを訪問しました。行く先々の病院で、いたいたけな子ども達が、まっすぐな視線で、私を見つめ返してくれました。

何の罪もない子ども達が、なぜ、このような理不尽な目に遭わなければならないのか、私には、今もって、何も果たせない申し訳なきで一杯です。

このたび、思いがけないS夫妻との出会いがありました。この申し訳なきを少しでも押し戻すべく、機会が与えられたと誰にとなく、感謝しています。

福島県は、私の連れ合いの故郷でもあります。そのことから、お役に立ちたいと思っています。3月5日 鈴木 稔

ボランティアで床張り替え、壁塗り



「カラッポのおうち」は、Sさんの亡くなったお母さんが一人暮らししていた家です。しばらく、だれも住んでいなかったため床や壁などいたみがあります。「カラッポのおうち」の計画を知り「私たちもフクシマのことでは何かしなければ」との思いをもつ大人たちが、ボランティ

アで床の張り替えや壁塗りをしています。子どもたちや家族がくつろげる空間にしようと、埼玉県内から、神奈川や千葉など遠くから、大工さんの経験がある人、ない人がやってきて、みんなで力を合わせて働いています。

一日も早く完成させ、長瀬、矢那瀬「花咲く春」に間に合わせたいと思います。



「おうち」には秩父鉄道波久礼駅から行きます

「カラッポの会」…って？ 2011年3月11日、世界中をおどろかす事件がフクシマでおこりました。原子力発電所の爆発で福島県のみならず周辺に放射性物質があふれました。「長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会」は、放射能汚染被害から子どもたちを守るために大人ができることをやろう！……そう、心に誓った大人たちの会です。まず、横浜市緑区在住のSさん夫妻が「私たちが持っている空き家があります。放射能被害を受けた子ども等が休養するための家として提供できます」と申し出ました。これを受けて賛同する大人たちが「その家の管理や子どもたちの受け入れをサポートする会をつくりましょう」と決めました。それが「長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会」です。場所は埼玉県の長瀬。観光地の近く「矢那瀬（やなせ）」というところにあります。小さな家ですが、ときどきSLが通る、山に囲まれた静かな田舎です。ぜひ、おいでください。そして、応援してください。

カラッポの会資料 長瀬やなせ “カラッポのおうち” の会 会則 案文

第1条（名称） この会は「長瀬やなせ “カラッポのおうち” の会」（略称：「カラッポの会」）と称する。

第2条（目的） この会は、放射能被害を受けた子どものための家（「長瀬やなせ“カラッポのおうち”」）の運営とサポートを目的とする。

第3条（会員・会費） ①この会は、会の目的に賛同し協力する個人で構成する。②会費は、原則として無料とする。ただし、会の活性に努力し、資金面で会を援助する会員は、有料会員1000円の年会費とする。

第4条（活動） この会は、「長瀬やなせ “カラッポのおうち”」を、放射能被害を受けた子ども等が休養する場所にするため、それぞれ、できる力をだし協力しあう。

第5条（会報） この会は、会報「カラッポのおうち」をときどき

発行する。

第6条（総会） 総会は、年1回事務局が招集する。総会では、次の事項を議決する。①年間活動報告および計画 ②予算および決算 ③会則の改正 ④事務局員の承認 ⑤その他、会の運営上必要と認められる事項

第7条（事務局） この会の事務局は、有料会員有志で構成する。

第8条（会計） ①この会の経費は、会費およびカンパをもってあてる。②「長瀬やなせ “カラッポのおうち”」の利用料はすべてカンパとして会計収入とする。3. この会の会計年度は1月1日より12月31日とする。ただし、2013年度に限り2013年 月 日を開始日とする。

第9条（大人の誓い） 放射能汚染被害から子どもをまもるために大人ができることをやります。

長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会（準）・事務局 2013年3月5日現在の募金高は、102,000円です。

◆連絡電話 090-8442-1364(杉村)FAX045-774-9282(鈴村)◆振込口座00210-9-53948 カリーナ横浜公演